



## トラブルシューティング情報

- [トラブルシューティング \(1 ページ\)](#)

### トラブルシューティング

ここでは、Hyper-V 展開中に発生した問題のトラブルシューティング情報を示します。

症状またはシナリオ	回避策と推奨事項
<p>クラスター拡張の展開中に、1 個のノードで障害が発生し、次のエラー メッセージが表示されます。</p> <p>タスクで失敗しました: 「スケジュールされたタスクの有効化と実行」とエラー</p> <p>[展開の再試行 (retry deploy)] が機能せず、同じノードが再度失敗しました。</p> <p>また、Windows のエラー ログには、このノードに実際の権限がある場合でも、「サーバに管理者権限がありません」と表示されます。</p>	<p>障害が発生したノードを再起動するか、ログアウトしてから再度ログインします。</p>
<p>ファイル ウィットネス 共有が設定されていません。</p>	<p>フェールオーバークラスターマネージャ (FCM) でファイル ウィットネス共有を作成し、ウィットネス共有として構成します。作成されたウィットネス共有を他の目的で使用しないことをお勧めします。</p>
<p>ストレージコントローラ VM (SCVM) のタイムアウトを待っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>• VLAN ID を手動で設定して再試行するか、</li><li>• コントローラー VM を削除して、再試行してください。</li></ul>

症状またはシナリオ	回避策と推奨事項
HX インストーラへの不正な Active Directory クレデンシャルが原因で、HX インストーラがコンピュータをドメインに参加できません。	インストーラの「HX Data Platform のインストーラとクラスタ設定の展開」の段階で HX のインストーラを再起動し、正しいクレデンシャルを入力します。
クラスタ内のいずれかのコントローラ VM がダウンしているときに、表示されるノードごとの統計が信頼できないものになります。	いずれかのコントローラ VM がダウンしているときは、Windows 側のカウンタを使用してください。
クラスタのインストールが正常に完了すると、HX Connect の FQDN アドレスにアクセスできない場合があります。	<p>Windows 2008 のデフォルトの Internet Explorer セキュリティ設定により、FQDN 名を使用した HX 接続のアクセスを防止します。回避策として、次のいずれかが可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Internet Explorer の設定を変更します。</li> <li>• IP アドレスを使用します。</li> <li>• Chrome や Firefox などの、サポートされるブラウザを使用します。</li> </ul>
コンピューティング専用ノードでは、[HX Connect Dashboard (HX Connect ダッシュボード)] ページでパフォーマンス チャートを使用できません。	これは 1 nly ノードです。
<p>次のエラーのために Windows のインストールに失敗しました。</p> <p>システム パーティションを検出できませんでした。</p> <p>さらに、setupact.log では、セットアップにより使用可能なディスクを有効なブート デバイスとして検出できなかったことが示されています。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ブート ポリシーを組み込みディスク (任意) に切り替えます。</li> <li>2. サービス プロファイルまたは サービス プロファイル テンプレートの場合、compute-nodes-m5 ではなく、hx-nodes-m5 をミラーリングするブート ポリシーを使用します。</li> </ol>
互換性のないプロセッサが原因で移行が失敗しました。	クラスタに異なる CPU タイプを組み合わせて設定することはできません。